

アンケート調査について

<ご議論いただきたい事項>

- 調査票案に関するご意見（構成、設問の妥当性、表現、選択肢等）

第3回委員会でのご指摘を受け、調査票構成・設問を大幅に見直しを実施。

(1) 調査票構成（項目） ※第3回委員会のご指摘を受け大きく変更

アンケートは前半部分は教育委員会向け、後半が文化振興所管部署向けの2種類。

（現在は1ファイルだが、実際にはそれぞれ個別に実施を予定）

①教育委員会向けアンケート：

主に、所管地域での学校部活動（小学校の部活動（教育課程外の活動）、中学校の部活動）の状況についての設問。回答は文化部活動に限らず、運動部の活動も含めて学校の部活動全般として回答いただく（一部には文化部活動に限った設問もあり）。

	大項目	中項目
I	部活動の活動の在り方に関する方針、部活動のガイドライン、教育振興基本計画等の策定状況	部活動の方針等の策定状況
		教育振興基本計画の策定状況
II	教員の負担軽減のための取組の状況	文化部の土日・祝日の活動時間
		文化部の土日・祝日の活動場所
		文化部の学校外等地域での自主的な活動状況
		教員の負担軽減のための教育委員会としての方策
III	学校施設・設備の開放状況	学校施設・設備の開放状況
		学校施設・設備の開放方針
		学校施設・設備の開放に係る課題
IV	地域施設・団体との連携	学校以外の地域施設の部活動での利用状況
		学校以外の地域施設の部活動での利用に係るの課題
		学校以外の施設への移動方法方針・費用負担
		児童・生徒が芸術文化に関わる取組の実施状況
V	部活動の地域移行	市区町村での部活動の地域移行の現状
		学校の部活動と地域との具体的な取組
		（地域移行している場合）鍵管理・施錠
		（地域移行している場合）必要な道具・用具・楽器等の調達・保管
		（地位置行している場合）大会や競技会への出場
		今後の部活動の地域移行への意向
		部活動の地域移行実現の可能性（連携先）
		部活動の地域移行の活動の受け皿の可能性
		部活動の地域移行に係る課題

		部活動の地域移行に係る国からの支援要望
		部活動の地域移行に関する意見・考え

②自治体文化振興所管部署向け

主に、所管地域における文化芸術の取組、芸術文化に関係する施設・設備の状況、芸術文化団体・教育機関との連携等についての設問。一部の設問に関しては、所管されている地域のみではなく近隣市区町村も含めて幅広く回答をいただく。

	大項目	中項目
I	条例、指針等の制定・策定状況	文化振興のための条例の制定状況
		文化政策の指針等の策定状況
II	地域の施設・設備の状況	地域の施設設置状況
		地域施設の文化団体の利用可否
		部活動の地域移行での公共施設貸出に係る課題
III	地域文化活動の状況	地域での児童・生徒が芸術・文化に関わる取組の有無
IV	地域の芸術文化団体・教育機関の状況	地域を拠点とする芸術文化団体の有無
		地域・近隣市区町村での芸術文化に関係する教育機関の有無
		団体・教育機関による児童生徒を対象とした芸術文化に係る取組
		児童生徒を対象とした継続的な活動への支援目的の補助金や助成制度
V	部活動の地域移行	部活動の地域移行の取組への関与
		部活動の地域移行に係る課題
		部活動の地域移行実現の可能性（連携先）
		学校の替わりとなる「活動の受け皿」としての施設・組織
		部活動の地域移行に係る国からの支援要望
		部活動の地域移行に関する意見・考え

(2) 実施スケジュール

8月下旬～9月上旬：委員ご回覧

9月中旬～9月下旬：調査実施

10月上旬～10月中旬：集計・分析

10月中旬頃（第6回委員会）：結果報告

【参考】以下、第3回委員会でご報告の内容から大きく変更なし。

(3) アンケート調査目的

本アンケート調査は、以下3点の把握を目的として実施する。

- ① 文化部活動の受け皿となりうる団体・民間事業者の現状
- ② 各文化団体が実施している児童生徒対象の活動内容
- ③ 学校施設設備利用の現状・課題

(4) 調査対象者

全国の教育委員会・自治体を対象者とする。

文化部活動に係る現状・課題に加え、主に教育委員会からは学校施設・設備や教員の負担軽減状況を、自治体の文化振興所管部署からは地域の芸術文化関連の取組状況を把握する。なお、既存の文部科学省調査で学校を対象とした教員勤務実態や部活動実施状況等の把握はなされているため、本調査では基本的には対象外とする。

都道府県：文化振興所管部署	47
市区町村：教育委員会	1,747
：文化振興所管部署	1,747
計	3,541

(5) 調査方法

調査の円滑な実施及び回収率向上のため、都道府県は文化振興所管部署、市区町村は文化振興所管部署及び教育委員会の義務教育所管部署に依頼。

回答者の負担軽減及び効率化、集計分析の効率化のため、ウェブアンケート形式とするとともに、調査項目を可能な限り絞ることに留意する。

(6) 分析の視点

単純集計によるファクトの把握に加え、主に以下2つの観点から分析を行い、モデル作成のポイントや国の支援の在り方検討等に反映する。

① 文化部活動の地域移行の現状把握

- 部活動（運動系、文化系それぞれ）の地域移行が進んでいる自治体にはどのような特徴があるのか（進んでいない自治体にはどのような課題があるのか）を明らかにし、モデル作成のポイント等に反映する。
 - ✓ 各項目と自治体規模、自治体内学校数のクロス集計による推進要因・課題の分類
 - ✓ 同地域の教育委員会・自治体回答比較による学校取組と地域文化資源の関係性分析

② 文化部活動の地域移行モデル展開可能性の検証

- 本調査研究で提示する文化部活動の地域移行モデルが、どのような特徴を持つ自治体であれば適用されやすいのかを明らかにし、モデル作成や国の支援の在り方検討に活用する。
 - ✓ 地域移行を実施している回答者の回答内容を、モデルとして取り上げる運営主体別、取組内容別に分類し、推進要因を整理
 - ✓ 地域移行を検討中／検討していない回答者が考える「文化部活動の地域移行の実現可能性」をモデルとして取り上げる運営主体別、取組内容別に分類し、課題を整理